

いこい通信

～家族と施設をつなぐ架橋～

2022年1月
冬号(季刊)

発行 特別養護老人ホームいこい

新年あけましておめでとうございます

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

“2022年危機”という言葉を目にして久しいですが、団塊の世代が後期高齢者になりはじめて健保組合の拠出金が急増すると見込まれているのが2022年危機です。2025年には団塊の世代全員が75歳を迎えます。この世代が後期高齢者になることと少子化による「支え手不足」により介護保険制度が圧迫され、介護保険制度自体の維持が難しくなるのではないかと懸念があります。その為、これまで多くの見直しが図られてきました。ポイントは4つ、①「給付と負担の大幅な見直し」、②「介護を担う人材確保」、③「認知症の「予防」と「共生」」、④「介護・フレイル予防と健康づくりの推進」です。介護保険法の破綻は確実とささやかれてきましたが、政府もさまざまな対策を講じています。

今後はどのようになるのでしょうか。介護保険法改正の流れをみると、重度化を防ぐための「予防」にベクトルが向いていることが見てとれます。重度化した高齢者のケアに一人でも多くの家族や医療・介護スタッフが携われるように、今、現在の心と体の状態をまずは維持すること。一人ひとりが予防に向き合い健康寿命をのばすことが大切になってきます。次の世代に負の遺産を残さないためにも、私たち一人ひとりが健康と向き合い、自覚を持って行動して参りましょう。

そして、もう一つ気がかりなのが、一昨年より続いている新型コロナウイルスの流行です。昨年末にかけて一度は落ち着きをみせましたが、また新たな変異株の脅威と向き合う中での新年幕開けとなりました。当施設では、皆様のご協力のお陰で、これまで一人の感染者を出すことなく過ごしてきました。本当に感謝申し上げます。

しかし一方で、長期間にわたる感染予防や面会制限など、大きなストレスを強いられる中、ご家族の皆様には大変なご心配をお掛けしています。いこい職員一同、ご利用者様・ご家族様に少しでも笑顔になっていただけるよう日々邁進して参りますので、引き続きのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

面会中止のご連絡

新年早々から大変心苦しいお知らせですが、現在の新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑みると面会を中止せざるおえない状況となってしまいました。特にオミクロン株の場合、都が4日までに「オミクロン株に感染した55人のうち、およそ7割は、ワクチンを2回以上接種していた人だった」と発表しています。高齢者施設においてはブレークスルー感染に最大の注意を払う必要があり、既に県内では市中感染も確認されています。大変申し訳ございませんが、何卒ご理解・ご協力お願い致します。

※詳細につきましては、内面3ページ目をご覧ください。

いこい PCR 検査結果

現在まで陽性者数“0人”

※毎週1回全職員実施しています。

新型コロナワクチンの追加接種(3回目)について

新型コロナワクチンの追加接種(3回目)がはじまります。一部地域では既にはじまっていますが、様々な不安や疑問があると思いますので、少し見ていきたいと思います。

Q なぜ追加接種が必要なのですか？

ここでは、細かなデータは省略しますが、これは“**感染予防効果が時間の経過に伴い、徐々に低下していく**”ことが示唆されているからです。さらに**高齢者においては重症化予防効果も低下**します。

追加接種することで、感染予防効果や重症化予防効果等を高める効果があります。

Q 追加接種は、どのくらい期間をあけたらよいのですか？

予防接種法に基づく追加接種の間隔は、ワクチンの供給力や、効果の持続期間の知見等を踏まえ、2回目の接種完了から**原則8ヶ月以上後**とされています。ただし、感染防止に万全を期する観点から、医療従事者等や重症化リスクの高い**高齢者施設入所者等は、接種間隔を6ヶ月に短縮**するとともに、その他の高齢者は、令和4年2月以降、接種間隔を**7ヶ月に短縮**することを政府の方針として示しています。

Q 追加接種は異なるワクチンでも大丈夫なのか？

追加接種は、初回接種に用いたワクチンの種類に関わらず、mRNA ワクチン(ファイザー社又はモデルナ社)を用いることが適当であるとされています。

Q 追加接種の効果は？

イスラエルから発表された論文によると、3回目接種により「感染予防効果は88%、入院予防効果93%、死亡に対する予防効果81%」としています。また、ファイザー社でも追加接種群と比較した発生予防効果は95.6%であったとしています。その背景にはやはり中和抗体の増加があります。

次の表は、ワクチンの組み合わせによる中和抗体価に関する米国の研究調査です。

1回目	2回目	3回目	中和抗体価
モデルナ	モデルナ	モデルナ	10.2倍
ファイザー	ファイザー	モデルナ	31.7倍
モデルナ	モデルナ	ファイザー	11.5倍
ファイザー	ファイザー	ファイザー	20.0倍
アストラゼネカ	アストラゼネカ	モデルナ	27.2倍
アストラゼネカ	アストラゼネカ	ファイザー	14.4倍
アストラゼネカ	アストラゼネカ	アストラゼネカ	2.58倍

※モデルナ製：アメリカ国内では3回とも同量接種

この結果から、現在、1・2回目と異なるワクチンを打つ「**交互接種**」が注目されています。

※日本では、モデルナ社の追加接種(3回目)は50μgを接種となっていますが、上記研究は100μgを接種した結果です。

Q 3回目の副反応は？

ワクチンの種類によって副反応や効果に多少の違いがあるのはご承知の通りです(一般にモデルナの発熱率が高く、ファイザーの方

が少し軽いと言われています)。では、3回目接種はどうでしょうか。

厚生労働省は、交互接種を伴わないものに関して「**2回目と、ほぼ同じ**」と発表しています。ただし、初回接種時と比較して、リンパ節の腫れの発現割合が高いこと(ファイザー社:5%程度、モデルナ社:20%程度)が、米国で実施された臨床試験の結果の中で報告されています。なお、**交互接種を伴う追加接種と、交互接種を伴わない追加接種の間では、副反応は同等であった**とする報告も出されています。

Q オミクロン株に対する効果は？

モデルナ社が米国立アレルギー感染症研究所とデューク大学と協力してオミクロン株に対する効果を検討したところ、モデルナ製を1・2回目の半量を追加接種することで、2回目接種よりも中和抗体価が37倍になったとしています。

ファイザー社もファイザー製を追加接種すればオミクロン株に対する中和抗体価が既存の2回接種時より25倍増加したという研究結果を発表しています。

まとめ：高齢者においては重症化予防効果も経時的に低下することが分かっています。オミクロン株の広がりが懸念される中、今とはとにかくブースター接種を進めていくことが重要になります。

●小田原市は、**2月**から老健や福祉施設へ**武田モデルナ社製ワクチン**を配布予定です。

※当施設も2月から接種を開始できるように準備を進めています。

※1・2回目のファイザー社製と異なるモデルナ社製のワクチン接種に不安を感じる方がいる

かもしれませんが、前述した通り交互接種による中和抗体価の数値をみると、むしろ良いかもしれません。



面会中止のご連絡について（感染拡大）

神奈川県内では6日、新型コロナウイルスの感染者152人が発表されました。昨年10月初頭以来の三桁となりました。黒岩知事は会見で「第6波が始まったと思わざるを得ない」と発言。変異株「オミクロン株」の感染拡大に備え、県として医療提供体制の強化するために病床確保フェーズを2段階引き上げた「3」とすることを発表しました。

県では、1月3日から5日までの3日間に60人がオミクロン感染したと判断しており、市中感染が明白な状況となってきました。県独自の予測では、オミクロン株の感染拡大により、県内の新規感染者は今月末にも1万人を超えるとのこと。現状でも、県のシミュレーションよりも実数が上回っている状況で、これから一気に立ち上がるような勢いで増加するとの予測です。すでに拡大中の沖縄や他都府県の状況からみても、これまでに経験したことのない急拡大の局面を迎えているのだといえます。

小田原市周辺においても年末から徐々に新規感染者数が増えており、再び福祉施設関係の感染例も報告されています。14日には、県西部初の宿泊療養施設が小田原市内で受け入れを始めることも決まっており、年末とは様相が一変してきました。8日からの3連休は「成人の日」の記念行事が各地で予定されており、更なる拡大も懸念されています。知事は「県民一人ひとりの感染対策が鍵となる。これまで以上に基本的な感染防止対策を行い、“徹底用心”してほしい」と強調しています。

このような、感染状況から1月以降の面会継続は困難であると判断いたしました。当分の間、面会は中止いたします。昨年11月から再開し、徐々に規制も緩和しようとして準備していた矢先のことです。残念でありませんがどうかご理解ください。1月10日からの面会を既にご予約いただいているご家族につきましても、面会中止とさせていただきます。誠に申し訳ありません。

面会の再開につきましては、県内・地域の感染状況等を見ながら検討してまいります。再開が決まり次第速やかにお知らせいたします。面会中止期間の代替措置といたしまして、オンライン面会を実施いたしますので同封の「オンライン面会実施のお知らせ」をご覧ください。

介護職員の処遇改善

早ければ本年2月より実施予定の介護職員の処遇改善ですが、これまでの処遇改善は少なからずご利用者様への負担がありました。しかし、今回は**利用者負担のない形**で進められています。また、一人月9000円の改善と言われていますが、分配方法等の詳細は現在検討中となっています。

神奈川県社会福祉協議会より表彰

ショートステイを担当する佐藤貴志介護リーダーが「永年勤続功労者」として神奈川県社会福祉協議会より表彰されました。19年以上の介護経験と厚い信頼で、いこいの中核職員として活躍しています。



写真右側：佐藤貴志 介護リーダー

「NPO法人太陽の会」様のご紹介!!

コロナ禍で外出できない利用者様へ屋内レクリエーションで使う「チョコレートフォンデュの機械」や「かき氷器」など、様々な備品を無償貸与していただいています。また、施設に飾るお花などもご寄付いただいております。大変感謝しています。本当にありがとうございます。





お正月の様子



お正月といえば
お節!! お刺身も美味しかったです。



書初めや福笑いを楽しみながら、
素敵な新年を迎えました。



ユニットの入口（玄関）や
テーブルなどにもお正月飾り!!



クリスマス



毎年恒例の Xmas パーティー!!
ツリーの飾り付けや、おやつ、プレゼント!
本当に楽しかった♡

行事 大晦日は年越しそば !!



“NPO 法人太陽の会”様から
お借りしたチョコレートフォンデュを
楽しんでいます!

社会福祉法人 憩 特別養護老人ホームいこい
〒250-005 神奈川県小田原市久野 4406-1
Tel. 0465-43-8011 Fax. 0465-43-8023
Mail. info@i-koi.net



<http://i-koi.net>

